2026年11月９日

各　　位

会 社 名　日本リーテック株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 久保　公人
（コード番号 1938　東証プライム）
問合せ先 取締役専務執行役員企画部長 澤村　正彰
（TEL.　03-6880-2710）

剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正（増配）、並びに株主還元指標の水準変更に関するお知らせ

当社は、2026年11月９日開催の取締役会において、下記のとおり、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）の決定及び2027年３月期の期末配当予想の修正、並びに株主還元指標の水準を変更することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定額	直近の配当予想 （2026年５月12日公表）	前期実績 （2025年３月期中間配当）
基準日	2026年９月30日	同左	―
１株当たり配当金	47円00銭	同左	―
配当金総額	1,166百万円	―	―
効力発生日	2026年12月２日	―	―
配当原資	利益剰余金	―	―

２．期末配当予想の修正の内容

	１株当たり配当金		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想	47円00銭	50円00銭	97円00銭
今回修正予想		60円00銭	107円00銭
当期実績	47円00銭		
前期実績	―	82円00銭	82円00銭

３．株主還元指標の水準変更の内容
（変更前）DOE3.6%（ROE９%×配当性向40%）
（変更後）DOE4.0%（ROE10%×配当性向40%）

４．理由
当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置付けており、安定的な配当の継続と機動的な自己株式の取得を通じて、利益還元の拡充と資本効率の向上を目指すことを基本方針としております。また、株主還元については、短期的な業績に左右されない安定的、かつ累進的な配当を実現すべく、還元指標はDOE（株主資本配当率）を採用しております。この方針に基づき、業績見通し及び財務状況等を総合的に勘案した結果、当初の予想どおり、１株当たり47円の中間配当を行うことといたしました。
また、本日（2026年11月９日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、最近の動向等を踏まえ、2027年３月期の業績予想を上方修正いたしました。株主還元指標の水準につきましては、ROE（自己資本利益率）の目標値である９%に配当性向40%を乗じてDOE3.6%としておりましたが、ROEが９%を超える見込みとなったことから、DOEの水準につきましても3.6%から4.0%へ変更することといたしました。これに伴い、期末の配当予想を１株当たり10円増配して60円とすることとし、中間配当の47円と合わせ、年間配当は107円を予定しております。

以　上